

2024年12月期 決算補足説明資料

2025年2月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証グロース コード 6561

Executive summary

増収増益

売上高

6,662百万円
(前期比: +29.3%)

営業利益

1,732百万円
(前期比: +111.3%)
利益率26%過去最高

経常利益

1,643百万円
(前期比: +114.5%)

過去最高益

当期純利益

1,627百万円
(前期比: +33.2%)

2024年訪日外客数 年間3,600万人突破 ⇒ **過去最多**

旅行事業

前年同期比 **25.3%増**

バス事業

前年同期比 **15.3%増**
過去最高益

ホテル事業

前年同期比 **28.6%増**
過去最高益

期末配当復配 (2019年以来)
30円/株 (配当性向23.1%)

2025年業績予想

売上高

7,200百万円
(前期比: +8.1%)

営業利益

1,840百万円
(前期比: +6.2%)

経常利益

1,750百万円
(前期比: +6.5%)

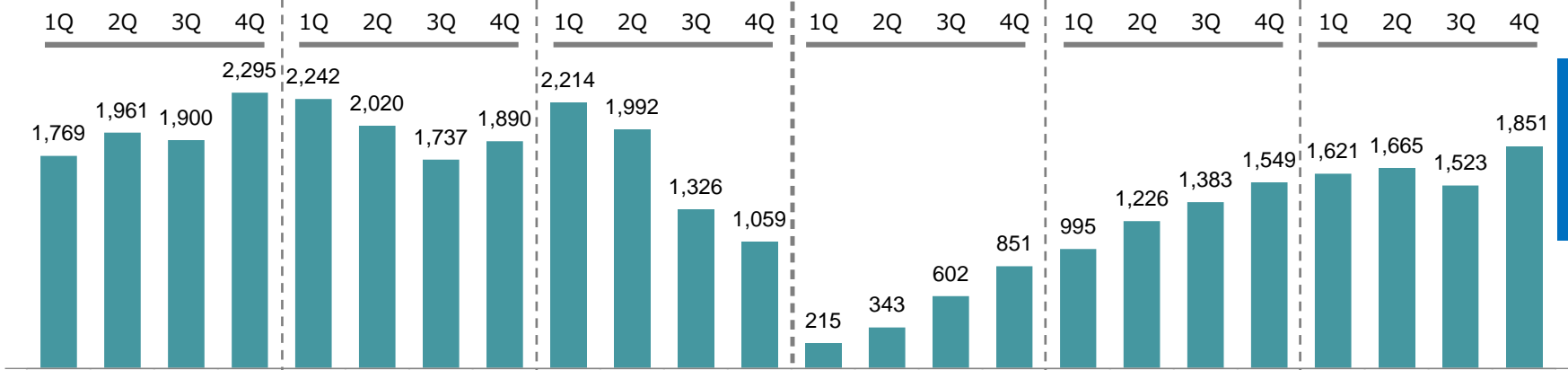
期末配当予想
37円/株 (配当性向29.8%)

売上高 営業利益 四半期推移

2024年12月期 売上高 営業利益 業績予想達成

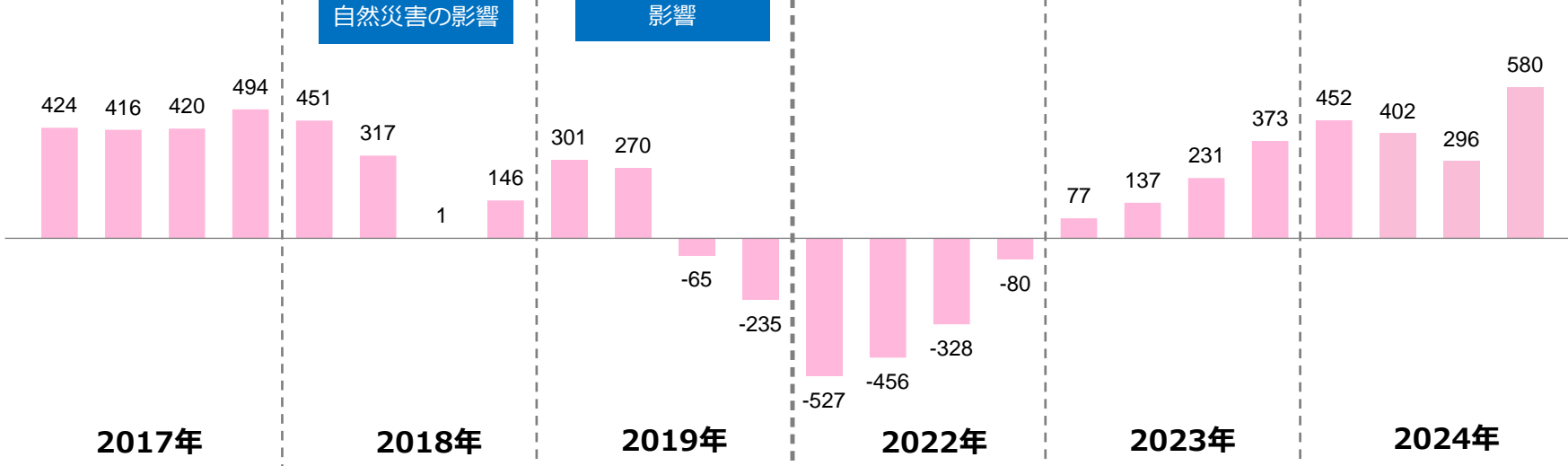
単位：百万円

売上高



2024年12月期
業績予想 達成率 100.9%
コロナ前(2018年比) 84.4%

営業利益



西日本豪雨等
自然災害の影響

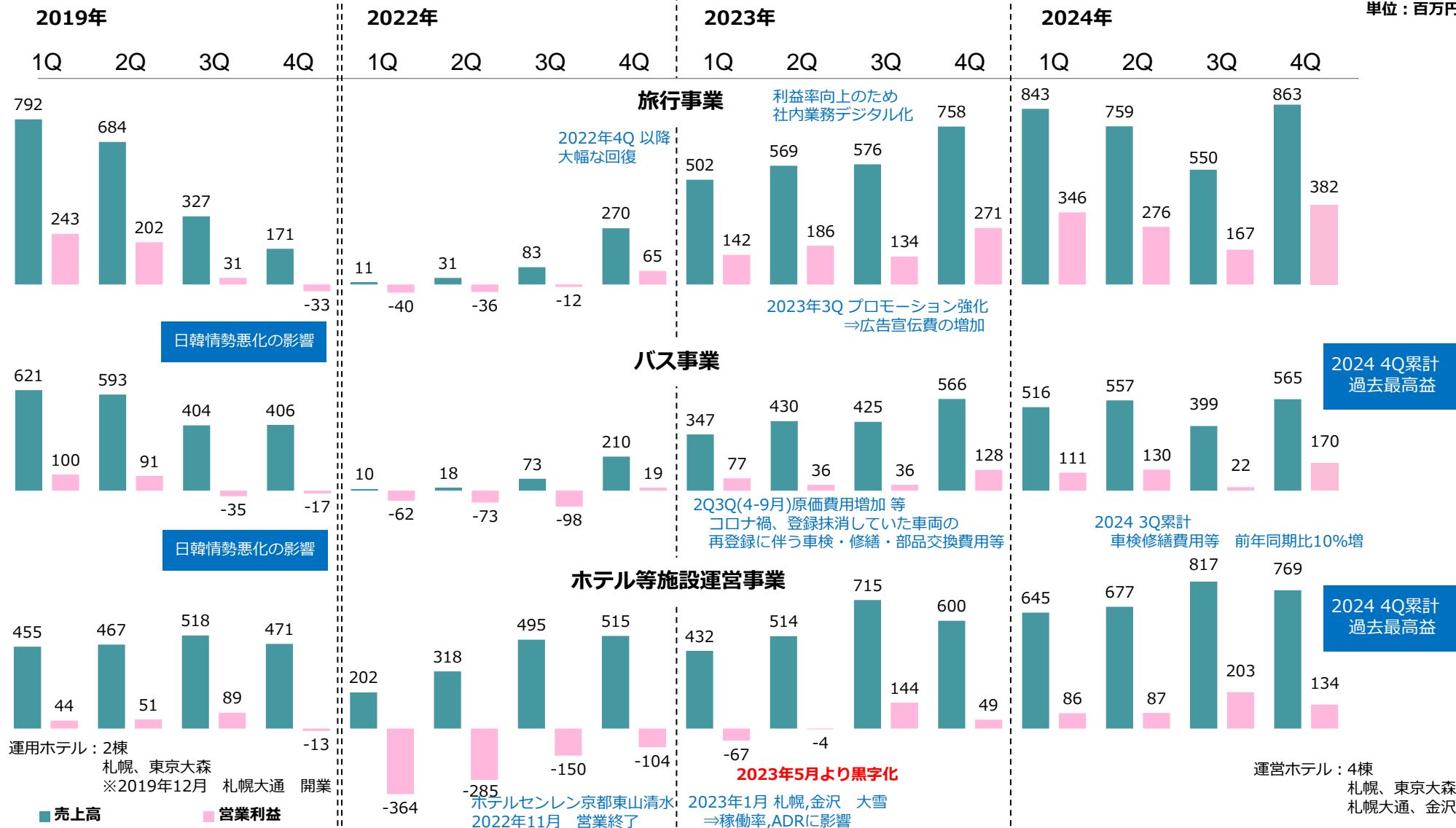
日韓情勢悪化の
影響

2024年 累計
営業利益1,732M

セグメント別 売上高 セグメント利益 四半期推移

2024年12月期 バス事業、ホテル事業 過去最高益

単位：百万円



主要指標

売上高

6,662百万円
(前期比：+29.3%)

営業利益

1,732百万円
(前期比：+111.3%)

営業利益率26%
過去最高

過去最高の営業利益率26.0%

自己資本比率

32.4%
(前期差：+13.3%)

ROA

17.0%
(前期差：+8.2%)

※営業利益ベース

各事業の設備投資による
事業拡大とともに
効率的な収益構造の構築

自己資本

3,477百万円
(前期比：+88.3%)
(対2017年：△38.7%)

ROIC

13.0%
(前期比：+6.3%)

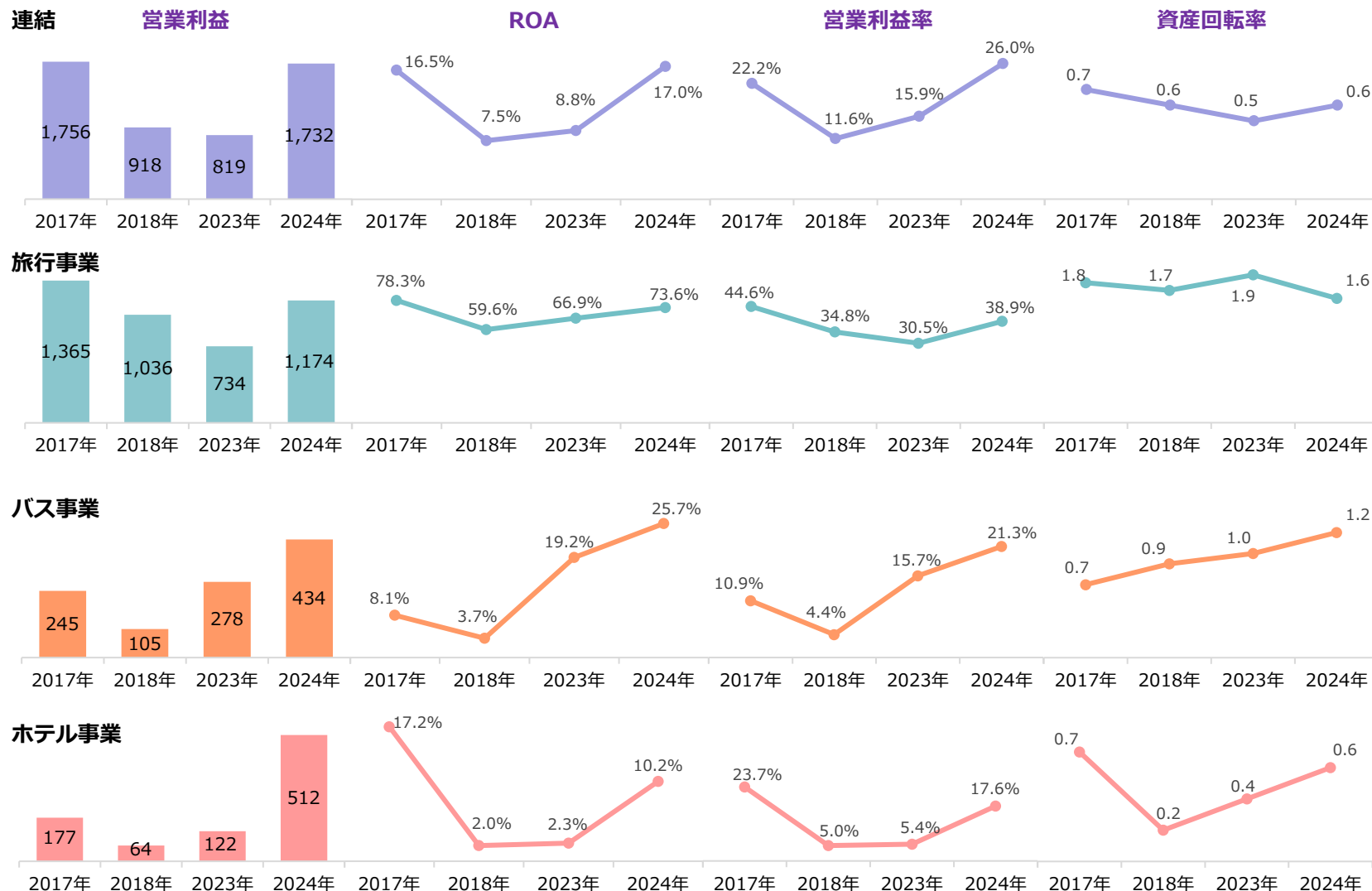
EVAスプレッド

6.2%
(前期差：+6.7%)

主要指標 推移

営業利益率とともに資産効率の向上を目指す

単位：百万円、%、回



FIT向け新システム開発に注力。
FIT需要の売上拡大により、
資産回転率の増加を目指す。

新車両の入替を順次行う。
ドライバーの適正人員数を
確保し、稼働率向上に努め、
ROA水準を維持。

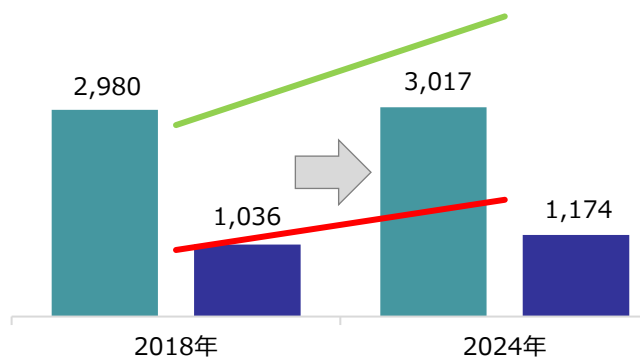
運営ホテルの不動産、
リース資産を保有。
各ホテルにてレベニュー
マネジメント強化。
ADR・稼働率向上により、
資本回転率の増加を目指す。

生産性向上

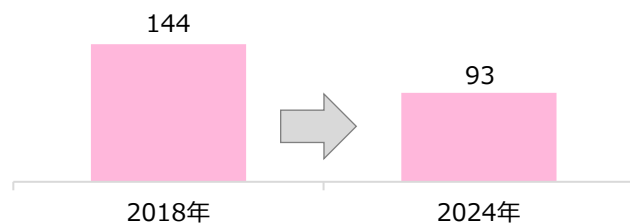
システム導入等による社内業務の効率化 ⇒ 旅行事業を中心に社員一人当たりの生産性向上

旅行事業

売上高 営業利益
社員1人当たり売上高 社員1人当たり営業利益

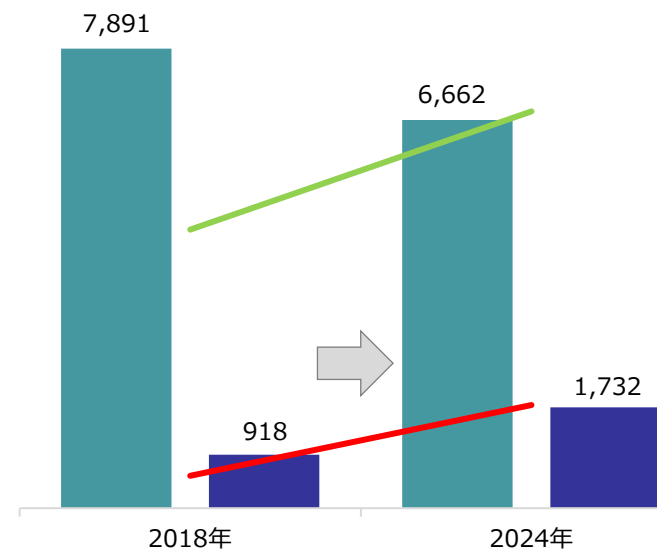


旅行事業 営業人員



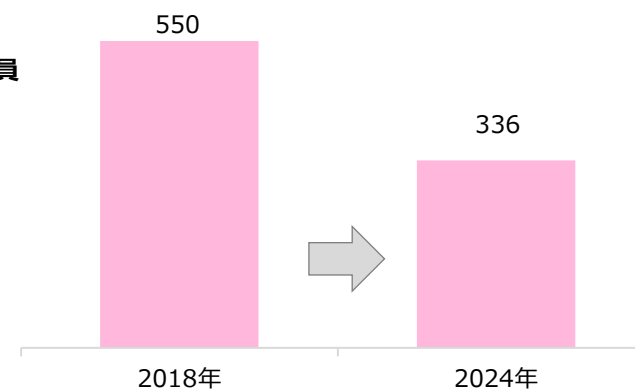
連結

単位：百万円



連結人員

単位：人



連結 事業セグメント別構成比の変化

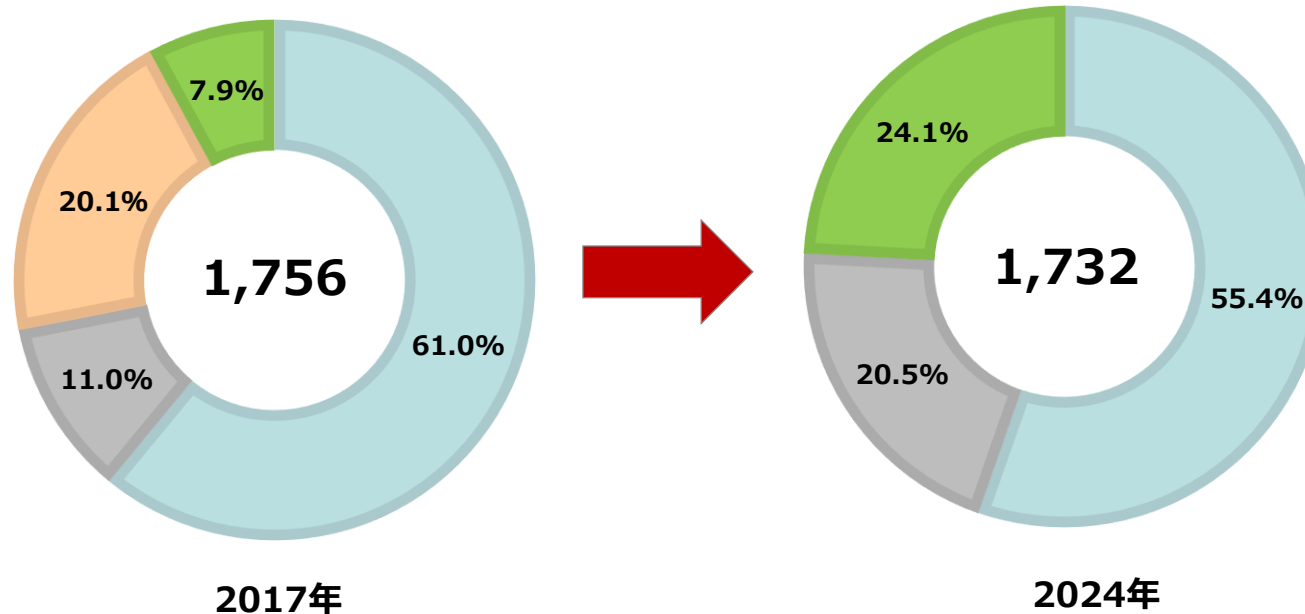
収益構造変化 免税店事業廃止 ⇒ 運営ホテルの増加 バス事業の利益率向上にて補完

アフターコロナにおける各事業の利益率向上の要因

- ▶ 旅行事業 ・ 営業拠点の集中、最適人員数維持などによる人件費・固定経費の圧縮
・ FIT向け収益の向上
- ▶ バス事業 ・ リースバックによるバス車両のランニングコスト圧縮
・ 管理部門 最適人員数維持による人件費圧縮
- ▶ ホテル事業 ・ 運営ホテル 2棟（2018年）⇒ 4棟へ増加

営業利益

■ 旅行事業 ■ バス事業 ■ 免税店事業 ■ ホテル等施設運営事業

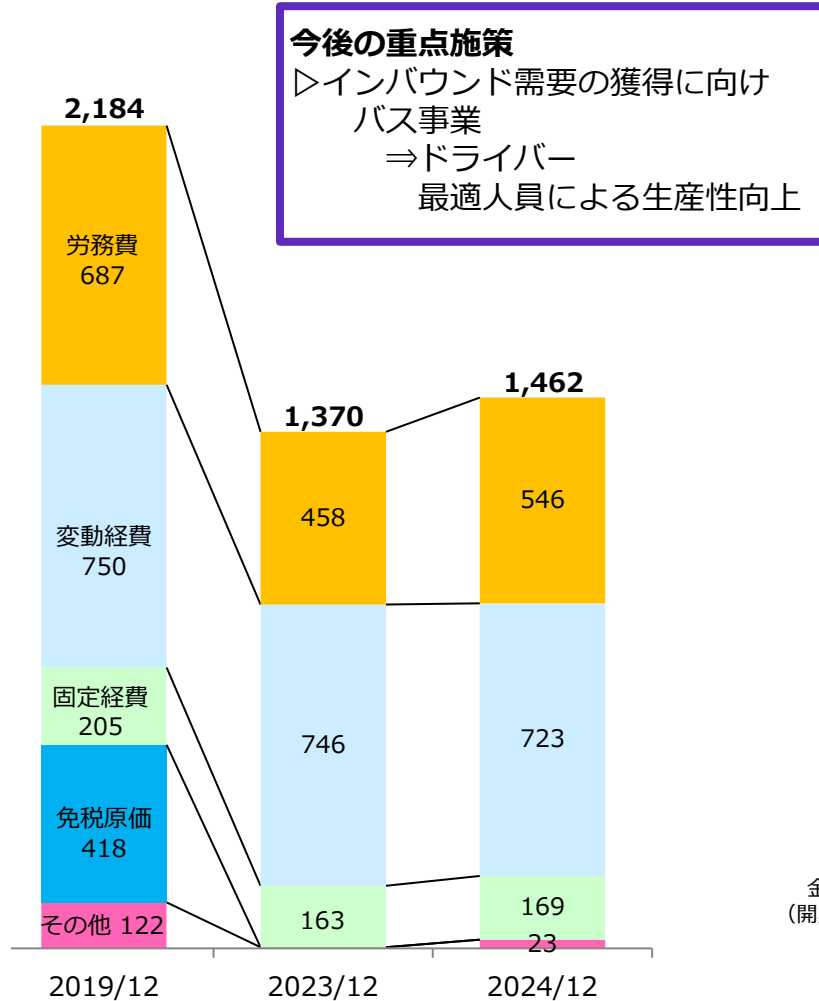


2024年12月期 コスト推移

アフターコロナ 最適人員維持 人件費・固定経費の抑制

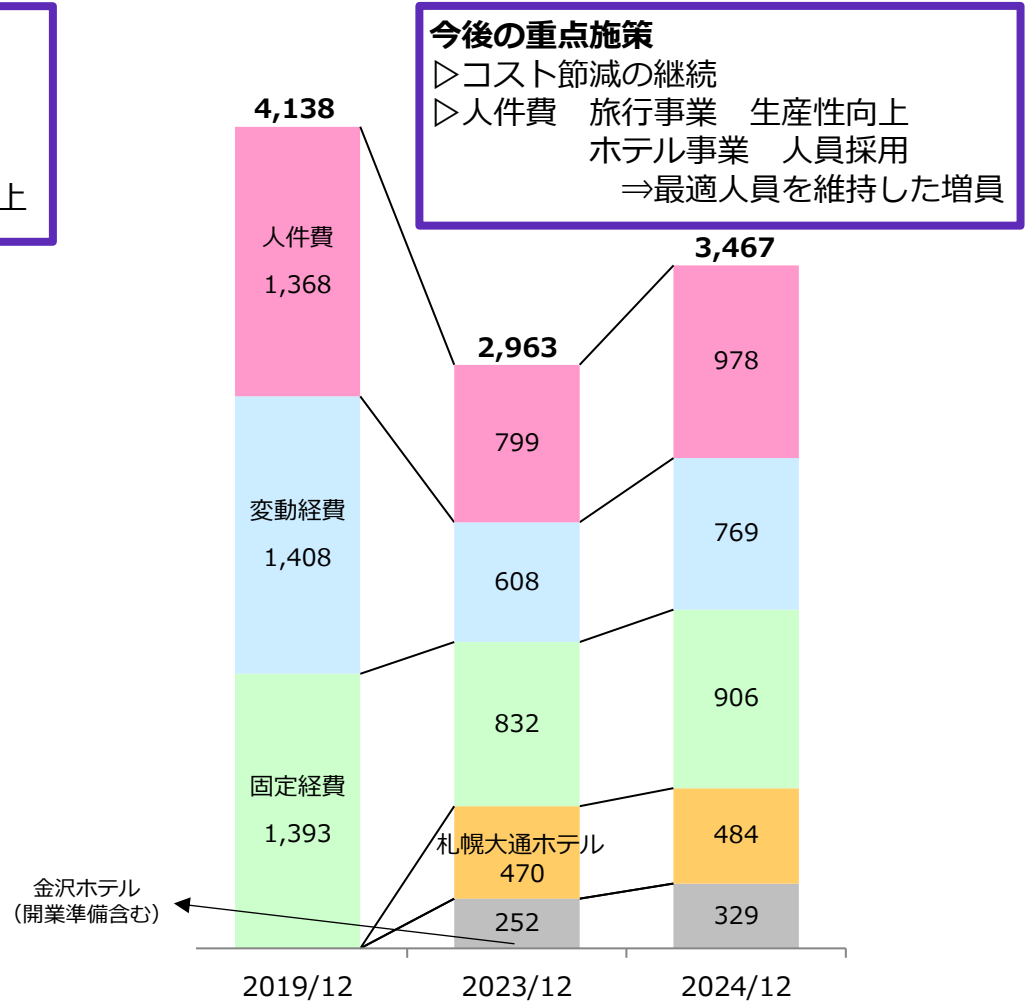
売上原価 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



販管費 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



国際定期便の状況

主要空港 国際線便数 増加 地方空港 回復遅延 (中国・香港)

2023年冬ダイヤ

エリア	空港	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他
	新千歳	○	○	○	○	○	マレーシア、シンガポール
北海道	旭川			○	○		
	函館			○	○		
東北	青森	○					
	花巻				○		
	秋田						
	仙台	○	○		○	○	
	福島						
	新潟	○	○		○		ロシア
関東	成田	○	○	○	○	○	世界各国
	羽田	○	○	○	○	○	世界各国
	茨城				○		
東海	静岡	○	○				
	中部	○	○	○	○	○	シンガポール、米国 他
北陸	富山		○				
	小松	○	○		○		
近畿	関西	○	○	○	○	○	世界各国
中国	岡山	○	○		○		
	広島	○	○		○		シンガポール
	米子	○		○			
四国	高松	○		○	○		
	松山	○			○		
	山口						
九州	福岡	○	○	○	○	○	シンガポール、フィリピン 他
	北九州	○					
	長崎		○				
	佐賀	○	○		○		
	宮崎	○					
	鹿児島	○		○			
	大分	○					
熊本	○		○	○			
沖縄	那覇	○	○	○	○		シンガポール
	下地島 新石垣						

2024年冬ダイヤ

エリア	空港	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他
	新千歳	○	○	○	○	○	シンガポール、マレーシア
北海道	旭川	○			○		
	函館				○		
東北	青森	○			○		
	花巻				○		
	秋田				○		
	仙台	○	○	○	○		
	福島				○		
	新潟	○	○		○		
関東	成田	○	○	○	○	○	世界各国
	羽田	○	○	○	○	○	世界各国
	茨城	○	○		○		
東海	静岡	○		○			
	中部	○	○	○	○	○	東南アジア、ハワイ、グアム
北陸	富山		○				
	小松	○	○		○		
近畿	関西	○	○	○	○	○	世界各国
中国	岡山	○	○		○		
	広島	○	○	○	○		ベトナム
	米子	○		○			
四国	高松	○	○	○	○		
	松山	○			○		
	山口						
九州	福岡	○	○	○	○	○	東南アジア、ハワイ
	北九州	○					
	長崎	○	○				
	佐賀	○	○		○		
	宮崎	○			○		
	鹿児島	○	○	○	○		
	大分	○					
熊本	○		○	○			
沖縄	那覇	○	○	○	○	○	シンガポール
	下地島 新石垣	○					

⇒主要空港

国際線便数回復割合

19年冬比(全体)	178.4%	103.3%	133.8%	113.5%	96.1%
19年冬比(主要空港)	167.5%	107.3%	139.2%	115.7%	96.8%
19年冬比(地方空港)	361.4%	47.7%	87.8%	101.1%	-

出典：国土交通省「国際線就航状況」をもとに当社作成。

2024年12月期 実績Summary

2024年12月期 前年同期比 営業利益111.3%増益

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%、円

	2023/12		2024/12 前期比			
		構成比	差額	増減率	構成比	
売上高	5,154	100.0	6,662	1,508	29.3	100.0
営業利益	819	15.9	1,732	912	111.3	26.0
経常利益	766	14.9	1,643	877	114.5	24.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,221	23.7	1,627	405	33.2	24.4
1株当たり当期純利益	97.32		129.60			
自己資本	1,846		3,477			
配当金	—		30.00			
配当性向	—		23.1			

2024年12月期 損益計算書

各事業 稼働増加 変動経費 増加 各事業にてベースアップ実施

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2023/12	構成比	前期比			
			2024/12	増減	伸率	構成比
売上高	5,154	100.0	6,662	1,508	29.3	100.0
売上原価	1,370	26.6	1,462	91	6.7	21.9
売上総利益	3,783	73.4	5,200	1,416	37.4	78.1
販管費	2,963	57.5	3,467	504	17.0	52.1
うち人件費	928	18.0	1,139	210	22.7	17.1
営業利益	819	15.9	1,732	912	111.3	26.0
経常利益	766	14.9	1,643	877	114.5	24.7
親会社株主に帰属 当期純利益	1,221	23.7	1,627	405	33.2	24.4

売上原価

- ・バス事業： +39百万円
- ・ホテル事業： +31百万円

販管費

- ・旅行事業： +128百万円
- ・バス事業： +73百万円
- ・ホテル事業： +226百万円
- ▷稼働増による
変動経費増+177百万円
- ・調整他： +73百万円

営業外損益

- ・バス事業 助成金
▷前期： 30百万円
- ・為替差損
▷前期： △2百万円
▷当期： △14百万円

税金費用

- ・法人税等調整額(益)
▷前期： 453百万円
▷当期： △18百万円

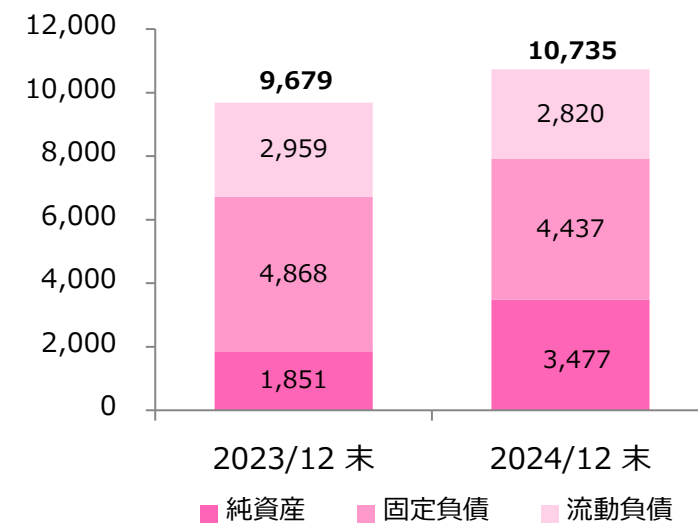
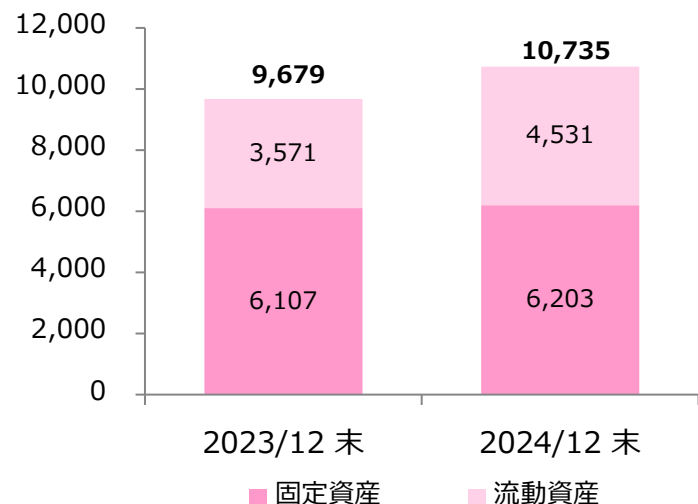
2024年12月期 セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2023/12	2024/12	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高	2,407	3,017	610	25.3	45.3
	セグメント利益	734	1,174	439	59.8	67.8
	利益率	30.5	38.9	8.4	-	-
バス事業	売上高	1,768	2,038	269	15.3	30.6
	セグメント利益	278	434	156	56.3	25.1
	利益率	15.7	21.3	5.6	-	-
ホテル等施設運営事業	売上高	2,263	2,910	647	28.6	43.7
	セグメント利益	122	512	389	317.0	29.6
	利益率	5.4	17.6	12.2	-	-
その他	売上高	42	51	8	19.5	0.8
	セグメント利益	0	△ 1	△ 1	-	△ 0.1
	利益率	-	△ 2.3	-	-	-
小計	売上高	6,482	8,017	1,535	23.7	120.3
	セグメント利益	1,135	2,119	984	86.8	122.4
	利益率	17.5	26.4	8.9	-	-
調整等	売上高	△ 1,327	△ 1,355	△ 27	2.1	△ 20.3
	セグメント利益	△ 316	△ 387	△ 71	22.6	△ 22.4
	利益率	-	-	-	-	-
合計	売上高	5,154	6,662	1,508	29.3	100.0
	営業利益	819	1,732	912	111.3	100.0
	利益率	15.9	26.0	10.1	-	-

2024年12月期 貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）



流動資産		4,531 (+960)
■ 現金及び預金	2,549 (+561)	営業CF +1,825 借入返済 △636(早期弁済 413)
■ 売掛金及び 契約資産	1,663 (+430)	売上増に伴う増加

固定資産		6,203 (+96)
■ 有・無形固資	4,632 (△30)	設備投資+324、償却による減少
■ 繰延税金資産	434 (△18)	取崩

流動負債		2,820 (△138)
■ 営業未払金	1,091 (+308)	各事業稼働増に伴う増加
■ 短期借入金	400 (△447)	早期弁済等による減少
■ 未払費用	616 (+32)	各事業稼働増に伴う増加

固定負債		4,437 (△431)
■ 長期借入金	404 (△184)	約定弁済による減少
■ リース債務	4,031 (△243)	返済による減少

純資産		3,477 (+1,626)
■ 資本金	100	
■ 資本剰余金	451 (+1)	
■ 利益剰余金	3,121 (+1,627)	当期利益 +1,627

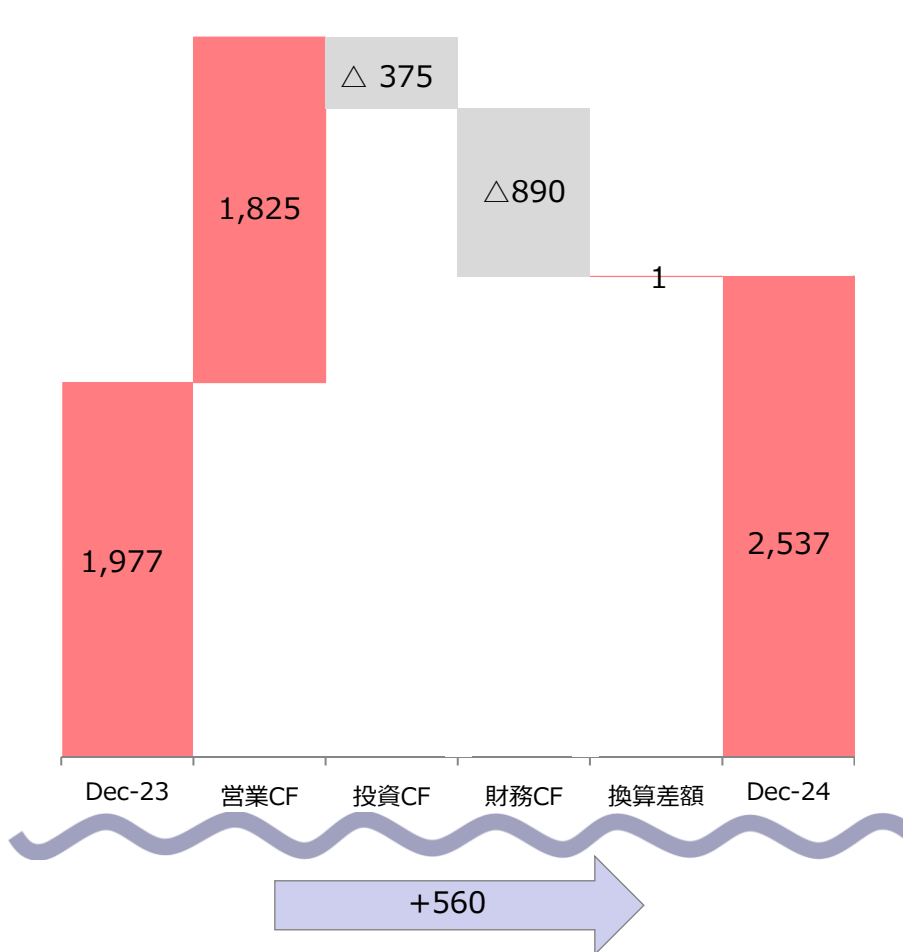
2024年12月期 CF計算書

FCF 増加 借入債務等の支払額（早期弁済 413百万円）を吸収 ⇒ Cash 増 560百万円

CF計算書

(百万円)

単位：百万円（百万円未満切捨て）



※百万円未満切捨て

営業CF

1,825

■ 営業利益	1,732 + 償却費349=2,081
■ 営業債務 増加	208
■ 営業債権 増加	△ 422

各事業 稼働増に伴う増加

投資CF

△ 375

■ 固定資産取得	△ 324 バス車両の資本的支出（修繕） 旅行事業・バス事業 システム開発
■ 敷金保証金	△ 69

財務CF

△ 890

■ 短・長借入金	△ 636 返済 内) 早期返済 △413
■ 社債	0 償還
■ リース・割賦債務	△ 255 返済

2025年12月期 業績予想

2025年12月期 前期比8.1%増収 6.2%営業増益予想 配当予想 37円/株

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%、円

	2024/12		2025/12 前期比			
		構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	6,662	100.0	7,200	537	8.1	100.0
営業利益	1,732	26.0	1,840	107	6.2	25.6
経常利益	1,643	24.7	1,750	106	6.5	24.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,627	24.4	1,560	△ 67	△ 4.1	21.7
1株当たり当期純利益	129.60		124.24			
1株当たり配当金	30.00		37.00			
配当性向	23.1		29.8			

2025年12月期 今後の重点施策

営業基盤の強化

経営効率化

需要獲得・事業拡大への取組

旅行事業

- ▶ 営業拠点の拡張
東京本社・九州営業所・北海道営業所
韓国営業所・インドネシア事務所
⇒ 国内外新拠点の開設検討
- ▶ 人員最適化
及び業務デジタル化による生産性向上

- ▶ インバウンド需要獲得に向けた取組み
 - ホテル、旅ナカ商材等 仕入強化
 - 海外AGTへの営業強化
- ▶ FIT（個人旅行者）向け
旅行企画・販売支援システムを開発中

バス事業

- ▶ 営業拠点：東京・大阪・北海道・福岡
⇒ 人員最適化
及び業務デジタル化による生産性向上

- ▶ 国内AGTへの営業強化
- ▶ 国際便クルーなど送迎事業の拡大
- ▶ 各事業所 ドライバー最適配置

ホテル等
施設
運営事業

- ▶ 運営ホテル
「Tマークシティホテル」ブランド 4棟
- バリューマネジメントによるADR・稼働率向上
- 人員最適化による生産性向上
- ランニングコストの見直し

- ▶ 国内・インバウンド・FIT需要獲得に向けた取組み
 - 国内旅行エージェント・OTAへの営業強化
 - 海外旅行エージェントへの営業強化
 - グローバルOTA対応強化

財務体質の改善

生産性 利益率の向上
余剰資金 → 早期弁済へ

- ▶ 資産効率、資本効率の向上
- ▶ 安定配当の実施

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経営管理部

TEL 03-6629-4755

ホームページ <https://www.hanatourjapan.jp/>